令和6年度(2024年度) 数学科 年間指導計画【第1学年】

評価

ア 定期テスト

イ 単元テスト

ウ 提出物 (問題集・ワーク・課題プリント等)

方法

工 宿題

オ 授業ノート カ ワークシート・振り返りシート (ポートフォリオ)

キ 発言・発表 ク 授業態度

ケ 実技テスト

数划煤胀的担占,你数划即审(数划及)

	教科横断的視点: <u>他教科関連(教科名)</u> 内容							
		<u> </u>	時数	学習内容	評価規準			
F	7	章			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4		0章 算数から数学へ	3	整数の性質	・自然数、素数、素因数分解の意味を理解している。 (アイ) ・素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。 (アイウオカ)	・自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見いだし表現することができる。 (アイウカ)	・自然数をいくつかの数の積で表すことにより、 整数の性質を見いだそうとしている。 (ウオカキ)	
		1		正負の数 加法と減法 乗法と除法 正負の数の利用 世界地図・時差 (地理)	・正負の数の必要性と意味を具体的な場面と結び付けて理解している。 (アイ) ・正負の数の大小関係や絶対値の意味を理解している。 (アイ)	 ・算数で学習した数の四則計算と関連づけて、 正負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。 (アイウカ) ・数の集合と四則計算の可能性について捉え直すことができる。 (アイウカ) 	 ・正負の数の必要性と意味を考えようとしている。 (オカキ) ・正負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 (オカキ) 	
Ę	5	1章 正負の数	25	章の問題A・B	・正負の数の四則計算をすることができる。 (アイ)・具体的な場面で正負の数を用いて表したり処理したりすることができる。 (アイカ)	・正負の数を活用して様々な事象における変化や状況を考察し表現することができる。(アイウカ)	・正負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 (オカキ)	
(5							

	章	時数	学習内容	評価規準		
月				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7	2章 文字式	18	文字を使った式 文字式の計算 文字式の利用 章の問題A・B	 ・文字を用いることの必要性と意味を理解している。 (アイカ) ・文字を用いた式における積や商の表し方を知っている。 ・文字を用いた式の文字に数を代入して、その式の値を求めることができる。 ・簡単な1次式の計算をすることができる。(アイカ) ・数量の関係や法則などを、文字を用いた式に表すことができることを理解している。 ・数量の関係や法則などを、文字を用いた式に表すことができることを理解している。 	 ・具体的な場面と関連づけて、1次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。 (アイウカ) ・文字を用いた式を活用して、具体的な事象を考察し表現することができる。 (アイウカ) 	 ・文字を用いることの必要性と意味を考えようとしている。 (オカキ) ・文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 (オカキ) ・文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。(オカキ)
9	3章 方程式	14	方程式と その解き方 1次方程式の 利用 章の問題A・B	したり、読み取ったりすることができる。(アイカ) ・方程式の必要性と意味を理解している。(アイウカ) ・方程式の解や等式の性質、移項の意味を理解している。 (アイウオカ) ・等式の性質の意味を理解し、等式の性質を用いて方程式を解くことができる。 (アイウオカ) ・移項の考えを用いて方程式を解くことができる。 (アイウオカ) ・簡単な1次方程式、比例式を解くことができる。 (アイウオカ) ・事象の中の数量やその関係に着目し、1次方程式をつくることができる。 (アイウオカ) ・1次方程式を用いて具体的な場面の問題解決を行うときの、解の吟味の意味と必要性を理解している。 (オカ)	 ・等式の性質をもとにして、1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。	 ・方程式の必要性と意味を考えようとしている。 ・正負の数や文字を使った式で学んだことを生かして、方程式を効率的に解く方法を検討している。 (オカキ) ・方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 (オカキ) ・方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 (オカキ) ・ 「大程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 (オカキ)
10	4章 比例と反比例	22	関数と比例 ・ 反比例 ・ 反比例 ・ 反比例 ・ 反比例の性質と 調べ方 反比例の性質 と調べ方		・比例、反比例として捉えられる2つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 (アイウカ)・比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	 ・関数関係の意味や比例、反比例について考えようとしている。 (オカキ) ・比例、反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 (オカキ) ・比例、反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 (オカキ)
11	1 年		比例と反比例 の利用 章の問題A・B		(アイウカ)	

	1 章	n+ */-	学習内容	評価規準		
,	1 早	時数		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	5章 平面図形	17	図形の移動 日本の伝統模様 (技家) 基本の作図 おうぎ形 章の問題A・B AED (保体)	 ・平行移動、対称移動及び回転移動について理解している。 (アイウカ) ・平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。 (アイウカ) ・角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解している。 (アイウカ) ・おうぎ形の弧の長さと面積を求めることができる。 (アイウカ) 	 ・図形の移動に着目し、2つの合同な図形の関係について考察し表現することができる。(アイウカ) ・線対称な図形の性質をもとにして、基本的な作図の方法を考察し表現することができる。 (アイウカ) ・図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用することができる。 (アイウカ) 	と意味を考えようとしている。 (オカキ) ・平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 (オカキ) ・図形の移動や基本的な作図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
	6章 空間図形	18	いろいろな立体 立体の見方と 調べ方 立体の体積と 表面積 章の問題A・B	 ・空間における直線や平面の位置関係を理解している。 (アイウカ) ・立体図形の展開図や投影図について理解している。 (アイウカ) ・柱体や錐体、球の表面積と体積を求めることができる。 (アイウカ) 	 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えることができる。	
	7章 データの分析と活用	10	データの整理 と分析 データの活用 ことがらの 起こりやすさ スポーツでも データ活用	 ・ヒストグラムや相対度数などの必要性と意味を理解している。 (アイウカ) ・累積度数、累積相対度数の必要性と意味を理解している。 (アイウカ) ・代表値や範囲の必要性と意味を理解している。 (アイウカ) ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。 (アイウカ) 	データの分布の傾向を読み取り、批判的に	・ヒストグラムや相対度数の必要性や意味を考えようとしている。 (オカキ) ・ヒストグラムや相対度数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 (オカキ) ・ヒストグラムや相対度数を活用した問題解決の過程を振り返って検討したり、多面的に捉え考えようとしたりしている。 (オカキ)

月	章	時数	学習内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3				・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の 必要性と意味を理解している。 (アイウカ)		・多数の観察や多数回の試行によって得られる 確率の必要性や意味を考えようとしている。 (オカキ) ・多数の観察や多数回の試行によって得られる 確率について学んだことを生活や学習に生か そうとしている。 (オカキ)
		3	1年間の 振り返り (問題演習)			